

やす

平成25年(2013年) No.36



市議会だより



- 定例会報告……………P2
- 各委員会報告……………P4
- 一般質問……………P6

- 災害発生時の議会としての対応…P9
- 委員会研修報告…………… P10
- 議会報告会・懇談会の予定……… P11

平成25年第3回定例会提出案件の概要と審議結果

【全員賛成で認定・可決した案件】

分類	議案番号	件名	審議結果	概要	付託委員会
補正予算	議第69号	平成25年度野州市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	特定健診にかかる国及び県の負担金等を精算、決算剰余金2分の1相当額の財政調整基金への積立、療養給付費等負担金の精算による国庫支出金返還金の計上など 補正額 1億2,885万8千円の追加	予算
	議第70号	平成25年度野州市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	決算剰余金の計上により不用となる一般会計繰入金の減額、出納整理期間中の保険料等収入額相当分に対する広域連合納付金の追加 補正額 888万8千円の追加	予算
	議第71号	平成25年度野州市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	保険給付費、地域支援事業等の確定に伴う国及び県との法定負担分の過不足精算及び返還額の計上など 補正額 1,848万4千円の追加	予算
	議第72号	平成25年度野州市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	(財)滋賀県下水道公社解散に伴う残余財産等の分配金の計上、漏水に伴う下水道料金の還付金の増額など 補正額 1,054万2千円の追加	予算
	議第73号	平成25年度野州市墓地公園事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	決算剰余金全額の墓地公園整備基金への積立 補正額 667万3千円	予算
決算	議第78号	平成24年度野州市地域医療振興資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入決算額 2,467万5,000円 歳出決算額 2,467万5,000円	決算
	議第79号	平成24年度野州市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入決算額 23億3,577万2,548円 歳出決算額 22億9,899万6,676円	決算
	議第80号	平成24年度野州市墓地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入決算額 3,357万9,573円 歳出決算額 2,690万5,803円	決算
	議第81号	平成24年度野州市基幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入決算額 1,316万2,098円 歳出決算額 1,315万5,000円	決算
	議第82号	平成24年度野州市工業団地等整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入決算額 20億260万9,316円 歳出決算額 20億257万7,394円	決算
	議第83号	平成24年度野州市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入決算額 989万8,288円 歳出決算額 989万8,288円	決算
	議第84号	平成24年度野州市水道事業会計決算の認定について	認定	収益的収入決算額 7億9,447万7,619円 収益的支出決算額 8億193万2,786円 資本的収入決算額 1億3,380万960円 資本的支出決算額 3億7,401万6,185円	決算
条例	議第85号	野州市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	里親に委託されている児童等を国民健康保険の被保険者としないうことで、里親となった世帯などの税負担が発生しないようにするための所要の改正	文教福祉
	議第86号	野州市地域ふれあい公園条例の一部を改正する条例	原案可決	開発行為に伴い帰属することとなった公園の追加と住居表示に伴う位置変更についての所要の改正	環境経済建設
その他	議第87号	町又は字の区域及び名称の変更について	原案可決	住居表示実施に伴う町又は字の区域及び名称変更	総務
	議第88号	工事請負契約について(さくらばさまこども園建築主体工事)	原案可決	契約金額 2億8,770万円 契約の相手方 辻寅建設株式会社守山営業所	—
	議第89号	工事請負契約について(北野小学校校舎増築(建築主体)工事)	原案可決	契約金額 1億7,325万円 契約の相手方 株式会社桑原組大津本店	—
意見書	意見書第11号	「地方税財源の充実確保」を求める意見書(案)	原案可決	基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行えるよう地方税財源の充実確保を求める意見書	—

【賛否が分かれた案件 ○：賛成 ●：反対】

分類	議案番号	件名及び概要	審議結果	矢野	梶山	井狩	市木	高橋	奥村	中島	丸山	西本	坂口	立入	太田	野並	小菅	田中孝	三和	鈴木	内田	田中良	河野	付託委員会
補正予算	議第68号	平成25年度野州市一般会計補正予算(第3号) 民間保育所の移転新築にかかる県の保育所緊急整備事業費の計上、決算剰余金2分の1相当額の財政調整基金への積立、野洲駅南口周辺整備構想検討業務及び新病院整備基本構想策定支援業務委託費、風しん予防接種助成費の計上など 補正額 3億2,135万1千円の追加	原案可決	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	—	—	○	○	○	○	予算
決算	議第74号	平成24年度野州市一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額 196億9,217万2,538円 歳出決算額 192億403万449円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	—	—	○	○	○	○	決算
	議第75号	平成24年度野州市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額 49億3,028万3,906円 歳出決算額 47億4,069万5,151円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	—	—	○	○	○	○	決算
	議第76号	平成24年度野州市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額 4億1,389万7,229円 歳出決算額 4億463万1,113円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	—	—	○	○	○	○	決算
	議第77号	平成24年度野州市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額 29億6,330万413円 歳出決算額 29億599万6,154円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	—	—	○	○	○	○	決算
修正動議	修正第1号	議第68号 平成25年度野州市一般会計補正予算(第3号)に対する修正動議 新病院整備に係る補正予算について483万7千円を減額修正	否決	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	—	—	●	●	●	●	—
意見書	意見書第7号	消費税の増税中止を求める意見書(案) 消費税増税の実施を中止することを求める意見書	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	—	—	○	●	●	●	—
	意見書第8号	オスプレイの配備撤回、響庭野演習場での訓練中止を求める意見書(案) 日本でのオスプレイ配備撤回と陸上自衛隊響庭野演習場での訓練中止を求める意見書	否決	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	○	○	—	—	○	●	●	●	—
	意見書第9号	介護保険の要支援1、要支援2を保険給付の対象から外さないことを求める意見書(案) 介護予防サービス利用者の費用負担増を防ぐため、介護保険の要支援1、要支援2を保険対象から外さないことを求める意見書	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	—	—	○	●	●	●	—
	意見書第10号	若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書(案) 若い世代が仕事と生活の調和を保ち、安心して働き続けることができる社会をめざし、就労環境等の整備を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	●	—	—	●	○	○	○	—

※議長(三和郁子議員)は採決に加わらない。



議場での採決の様子

用語解説

【修正動議】

議員から議会に対して、または委員から委員会に対してなされる提議を動議といいます。修正動議とは、原案に対してその一部または全部を改め直すことを求める提案を行うことであり、野州市議会の本会議では、議員定数の12分の1以上(2人以上)を提案の要件としています。

総務常任委員会

◆町又は字の区域及び名称の変更について

問 議決した後に、その対象地番に一部漏れがあった経過についてもう少し説明を。

答 開発業者が分筆登記をしている中で、7筆分が法務局に届出されていなかった。その業者から

の報告を受けた上で宅地になるため、今後この部分を購入された方に対し、極端に言えば自分の宅地の敷地内で登記簿上、半分は竹ヶ丘、もう半分は市三宅という2つの大字界が発生することとなるため、7筆分の承認が必要になった。

環境経済建設常任委員会

◆野洲市地域ふれあい公園条例の一部を改正する条例

問 竹ヶ丘に4つの公園があるが、公園の整備状況とどれくらい家が建っているか。

答 遊具等が配置され、緑地も整備されている。開発の検査も終わり、5公園と確認。建て家の正確な数字はわからない。

問 竹ヶ丘の開発において、雨水の流れは。

答 1期工事分については、全て野洲川へ放流、2期工事分については、浸透式の調整池での処理となる。

文教福祉常任委員会

◆野洲市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 今回の条例改正で、被保険者としなないこととする児童は18歳未満なのか。また、医療費に福祉医療の適用はあるのか。

答 18歳未満の扶養義務者がいない児童福祉施設入所児童や里親に委託されている児童が対象で、医療費については、福祉医療ではなく、国と県による公費負担医療が適用となる。

問 里親として育てている子どもを養子縁組した場合、その時点で被保険者に切り替わるのか。

答 養子縁組した時点で親子関係が生じるので、通常は被扶養者となる親の保険に加入することとなる。

予算常任委員会

環境経済建設分科会

◆平成25年度野洲市一般会計補正予算(第3号)

問 大篠原街道町に対する補助は、なぜ、当初予算に計上されていないのか。年度計画をたててもらうように。

答 当初の段階では、街道町自治会の執行計画が明らかでなかった。当初予算に計上できるよう来年度の計画については、本年10月末を目途に提出をお願いしている。

◆平成25年度野洲市墓地公園事業特別会計補正予算(第1号)

問 基金は、新たな墓地公園の整備に充てないのか。

答 墓園の排水対策や大規模修繕に備える。新たな墓園の整備は考えていない。

文教福祉分科会

◆平成25年度野洲市一般会計補正予算(第3号)

問 風しんの予防接種の助成対象者の人数と助成金額は。

答 19歳以上の市民で、妊娠を希望する女性、その夫や同居家族が対象で約800人を予定している。MRワクチンの経費、約1万円に対し7千円を上限として助成する。

問 健康福祉センター3階の障がい者用トイレのベビーチェア設置費が計上されているが、1階トイレにも必要なのでは。

答 1階の障がい者用トイレは、サービスでの利用頻度が高く、また、1階の女性トイレは、スペース的に安全性の確保が難しい。3階までエレベーターを利用して使用いただきたい。

問 中主小学校の駐輪場設計委託料が計上されているが、どのような事情からか。

答 基礎の部分と接合部分のさびによる腐食が進行して危険な状態であったため撤去し、新たな駐輪場設置工事のための設計委託料を計上した。

総務分科会

◆平成25年度野洲市一般会計補正予算(第3号)

問 新病院の整備基本構想検討業務委託料について、熟度の高い検討とは何か。

答 基本構想の中での新病院の基本方針、目指すべき将来像、また、整備箇所の具体的な選定、整備スケジュールの決定などである。

問 ものづくり指導者養成支援事業補助金の減額理由について、市の計画が国の計画に合っていないとの説明であるが、その違いは何か。

答 今年から、事業の補助対象が指導者養成スクールの運営補助ではなく、国から中小企業を限定とした会社への直接補助となり、制度が変更された。



決算特別委員会

総務分科会

◆平成24年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 情報管理にかかる様々なシステム改修の中で住民基本台帳の法改正に伴う基幹系システムの改修については交付税の算定基準に入るのか。

答 交付税算入項目のうち、戸籍住民基本台帳費、包括算定経費に情報管理にかかる経費が含まれるものの、交付税算定の組み立ては複雑なことから、具体的な本市の影響額を詳細に把握することは難しい。

問 統計調査員の確保対策事業とは何か。また、統計調査員というのは、資格がいるのか。

答 事業については、市で募集し、県の研修に参加してもらい、統計調査に従事していただく。こ

の事業は、県で実施している統計調査員の指導等に支出している。また、資格については特にいない。

問 コミュニティセンターの使用に関し、現在は午前、午後、夜間となっているが、時間貸しにできないか。

答 以前より検討しているが、各コミセン等のヒヤリングにおいて、準備・片付けで1時間、活動・会議などで2時間程度、概ね3時間から4時間の使用になると、半日単位での使用のほうが、利用者や事務手続上の問題も少ないとのことなので、現在はそうしている。



環境経済建設分科会

◆平成24年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 地球温暖化対策事業費のエコハウス普及促進補助金については、本年度で終了するが、これに代わる制度は検討されているか。

答 国の施策が出てくれば、市としても取り組みたい。

問 国道8号野洲栗東バイパス整備促進期成同盟会負担金に関連して、オリベストの問題や地元協議の状況は。

答 オリベストについては既存施設の改築にかかる建築規制の問題がある。地元協議については地域ごとの全体会議を開催していただく予定である。

◆平成24年度野洲市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 受益者負担金の新規分に関して、トイレは下水道に接続しているが、生活雑排水が接続できていない例が見受けられるが、指導は。

答 法的義務はあるが強制力はないので、啓発しながら個別のお願いを継続していきたい。

◆平成24年度野洲市水道事業会計決算の認定について

問 健全経営に向けた有収率向上のための漏水調査や老朽管の敷設替えなどの対策に関する見解は。

答 市内全域にわたって、2巡目、3巡目と調査と修理を繰り返すことで、有収率が改善すると考えている。



文教福祉分科会

◆平成24年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 民生委員児童委員の業務の負担を軽減するための工夫が必要では。

答 今後の業務のあり方について民生委員児童委員協議会で検討いただく。12月の改選で増員を予定している。

問 野洲図書館の図書購入費の予算減に対する新刊購入等の考えは。

答 予約リクエスト制度を活用し、少ない予算の中で工夫しながら、利用者にとって魅力ある図書館運営をめざして鋭意努力していく。

◆平成24年度野洲市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 国民健康保険財政調整基金の積立金が今年度末で3億円余りになるので、1世帯1万円、国民健康保険税を引き下げし、還元すべきでは。

答 医療費の今後の伸び等を見込み、平成27年度末には適正規模である2億円の積立金に落ち着く予測のもとで運営している。



◇平成24年度決算状況の詳細については、広報やす11月号をご覧ください。

一 般 質 問

8月定例会で9名の議員が質問しました。

掲載内容は代表的な質問、答弁の概要のみです。

詳細は会議録またはインターネット録画中継をご覧ください。

会議録は市役所情報公開コーナー、図書館、各コミセン等で閲覧できます。

また、市議会ホームページでも公開します。



災害時要援護者の 避難対策について

や の た か ゆ き
矢 野 隆 行

問 災害時に自力で避難することが難しい高齢者や障がい者など、災害時要援護者の名簿作成を市町村に義務づける災害対策基本法の一部改正が先の第183回の通常国会で成立している。

本市の登録者数、また名簿更新の周期は。

答 本年3月1日現在、76人で、更新の周期は1年である。

問 本市の要援護者の対象者の要件は。

答 要介護または要支援の認定を受けている方、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、65歳以上の高齢者のみの世帯である。そのほか、各自治会で支援を要すると判断する方が対象。

問 避難の実効性を高めるための本市の取り組みは。

答 災害に備えた防災訓練は、毎年、市をはじめ、各自治会でも実施している。今後、あらかじめ想定される要援護者の実態に応じた避難支援のメニュー化等を行い、実効性のある支援者等の訓練を実施していきたい。



台風18号の大雨で増水した
日野川の仁保橋付近



市長への手紙 回答について

ま り や ま け い し
丸 山 敬 二

問 市長への手紙「野洲駅南口喫煙所について」の中で市民の健康と喫煙者への便宜を比較すれば健康が大切だ、と言いながら喫煙所を設置したのはなぜか。

答 通行者に最も影響が少ない市有地を選び、むしろ市民の健康を考えて設置したものである。

問 駐輪場を利用するたびに副流煙を吸わされて心身とも迷惑していると言っているが。

答 現場確認をしたが副流煙が拡散している状況は確認できなかった。

問 灰皿の周りに吸い殻やたばこのケース、飲料の空き缶、ビンが捨てられているが。

答 1日3回の清掃を業者に委託している。

問 喫煙所と関係のない、給与所得者の会の駐輪場移転や隣接のマンション建設がなぜ（手紙への）回答としてでてくるのか。

答 駐輪場移転とマンション建設が時期を一にする。手紙の中でほほえみ健康プランに触れられており、政策論として、広いまちづくり、今後のまちづくりを考えていただきたいという主旨で回答させていただいた。



野洲駅南口喫煙所



アベノミクスによる地域活性化への影響は

梶山 幾世

問 大胆な金融緩和、株高、円高是正による景気の動向、実態をどう認識されているか。

答 I T関連の大手事業所の業績は円安の効果により回復傾向との情報を示している。中小の事業所は、円安による資材、燃料等の価格上昇の影響を受けている。

問 財政運営への影響は。

答 景気回復により、法人市民税の増額が期待できる



災害時のI C Tの活用について

内田 聡史

問 災害発生時の自治体による情報発信は非常に重要である。災害時に本市のホームページをどのように活用するのか。

答 補完的な有効性はあるが、現段階では防災行政無線や広報車などにより正確な情報伝達を行う。



防災教育の現状は

西本 俊吉

問 学校での災害予防対策は。

答 市内各学校では、「学校防災マニュアル」を作成し、児童生徒の命を守ることを最優先にしている。本部の設置、児童生徒の避難場所の確保、被災状況の調査、安否確認の実施について、迅速かつ組織的に行動する。

問 各学校の避難訓練の内容、年間実施回数は。

答 火災と地震を想定した避難訓練を全校体制で年1回実施。また、湖南広域消防局の指導を受け、起震車や煙が充満した現場からの避難方法などの体験を通し、防災意識を高めている。

が、普通交付税はその75%が相殺されることから、好転とは言えず影響への判断はできない。

問 産業振興策、中小企業に対する振興、支援策は。

答 市の小口簡易資金、県セーフティネットの融資制度利用者への利子補給を実施。商工会内での企業マッチング等を行い、ビジネスチャンスが得られるよう取り組みを進める。

◎健康マイレージの取り組みを

問 健康診断の受診や健康事業に参加するとポイントがつき、景品や図書カード等に交換できるマイレージ制度の導入で、介護予防、健康づくりを。

答 健康づくりに関わる医師会等で構成する推進委員会、学区ごとの「健康を考える会」が本市の健康プランの主な推進体制となり、この推進委員会の議論を踏まえて検討していきたい。

問 市内の指定避難所施設のインターネットアクセス環境整備状況は。

答 野洲川河川公園等の屋外スペースを除く市内38箇所でインターネットアクセス環境は整っている。

問 消防団詰所のインターネットアクセス環境整備は。

答 整備できていない。

問 本市のホームページを携帯電話でも見やすいように仕様変更すべきと考えるか。

答 仕様変更の必要性は高い。ホームページの充実を図る中で検討する。

問 Yahoo!JAPANと災害協定を結ぶ自治体が増えてきている。本市においても検討すべきだと考えるか。

答 特定の民間企業である問題点や個人情報漏えい等の課題もあり、今後の情報通信環境を注視し検討する。

問 登下校時等の災害発生に対する避難方法の徹底は。

答 基本対応フローを作成し、放課後や登下校時等の地震発生に対する避難方法を指導している。

問 保護者との連絡体制と連絡がとれない時の対策は。

答 不測の事態の発生時には、緊急メールや電話で迎えの要請をする。連絡が取れないときは、学校で待機させる。昨年度より保護者参加型の避難訓練や児童の引き渡し訓練を順次実施している。

◎せせらぎの里づくりについて

問 野洲川改修以後、地下水位が下がり、井戸が枯れ、以前のような小川の流れがない。住む人の心のオアシスとなる水路に水の流れを復活させる計画は。

答 環境用水の要望があり、農業用水の多目的利用など具体的な手法と課題を検討したが、現実的には困難と判断している。

問 「せせらぎの里づくり推進条例」を制定しては。

答 現状では、環境用水の確保が難しいことから条例の制定は考えていない。



市職員に求められる人材確保とは

たか はし しげ お
高橋 繁夫

問 自己アピール採用制度を導入し、コミュニケーション力を持った職員を採用すべきと考えるが。

答 コミュニケーション能力は大事であり、採用試験においてグループ討議や面接時に自己アピールをしていただいている。良い人材を確保するには、できるだけ職場の雰囲気が良い、提案ができる、そしてまた実現ができるという風土づくりが大事であり、今後もこのような方針で人材を育成していく。

◎道路・河川の整備促進について

問 県道野洲中主線の用地買収の現状と今後の見通しは。

答 滋賀県とともに、粘り強く用地交渉していく。

問 県道安養寺入町線の用地買収の状況は。

答 全員の方に用地買収に応じていただいている。

問 野洲駅前の排水対策に直結する童子川改修の進捗状況は。

答 県が地元説明を行い、測量調査を実施。友川の雨水幹線整備とも整合を図り、平成27年度に暫定通水ができるよう事業を実施していく予定である。



台風18号の大雨で冠水した野洲駅前交差点



市内小学生の少人数学級の実現と加配教員の充実を

おお た けん いち
太田 健一

問 市内小学校で新学期から授業が成り立たないような状況にあるクラスが複数あると聞いているが、対応と今後の対策は。

答 校長や教頭による支援や臨時の学級懇談会を開催し、保護者の協力のもと改善している。今後は更に保護者との連携強化や、当該学級の担任だけの問題

とせず、さまざまな機関との連携強化と組織的対応に努める。

問 根本的な問題として担任教員が子どもと向き合う現実的な時間や精神的な心の余裕がない。具体的な対応として少人数学級の実現や加配の支援員の充実が必要では。

答 国、県に対して少人数学級編制の早期実現を要望している。市単費による加配も行っている。

◎雇用実態調査と企業への指導を

問 ブラック企業が社会問題となり政府による調査が始まっているが、市内の雇用調査や企業への指導が必要では。

答 市だけの把握は出来ていない。ハローワークと連携しながら商工会や工業会に働きかけていく。



景観条例に基づいた駅周辺開発を

の なみ きょう こ
野 並 享 子

問 新病院整備については、駅前に圧迫感が無い空間が必要であり、景観審議会での議論も必要である。

答 全て公開で進めており、プランニングの段階から、進捗状況も含め審議会に諮る。

◎学童保育について

問 学童の土曜保育が求められているが。

答 土曜保育の要望は聞いている。アンケート調査で

ニーズを聞き検討する。

問 祖父母が60歳の定年で退職した時、学童の退所を求められた。入所基準の見直しが必要では。

答 65歳以上の祖父母なら預かっている。入所基準の見直しは考えていない。

◎自主防災と避難場所について

問 栄地域の住民8割の署名が添えられ「野洲第二保育園の跡地は自主防災の拠点として、一時避難場所に」という嘆願書が出されているが。

答 自治会の方と丁寧に話し合いをしていきたい。売り急ぎはしない。



さくらばさまこども園に移転する野洲第二保育園



憲法改正は戦争の できる国づくり

こ すが むつ お
小菅 六雄

問 安倍政権が進める憲法96条改正の狙いは、戦争ができるようにするための9条改正であると思うが。

答 改正そのものに否定的ではないが、現時点では現行の憲法の枠内で十分対応可能で改正の必要はない。

問 高島演習場の日米共同訓練で米軍輸送機オスプレイが使われる。市民の安全のため反対を主張すべき。

答 市には情報が入っていないが、当然市民の安全は大事であり懸念があれば強く発言をしていく。

◎山・川・琵琶湖を生かしたまちおこし・ 観光・産業を

問 市民レベルでは家棟川観光遊覧船や野洲でんくうの会をはじめ多様な市民活動で環境保全や観光振興の取り組みがされている。同時に必要なことは行政自身が「山・川・琵琶湖」を生かしたまちおこし・環境・産業施策を積極的に取り組むべきである。

答 指摘されたことについてはやっていきたいと思うが、まちづくりは支援だと考える。市主体では持続可能性を損なうのではないかと考える。



家棟川観光遊覧船

野洲市議会の大規模災害時の対応

議会改革特別委員会では、防災対策研究会を6月に設置し、災害発生時の市議会としての対応等について協議を重ね、「野洲市議会大規模災害対応規程」を定めました。

大規模災害
発生

野洲市

野洲市災害対策本部
野洲市事故対策本部



台風18号の大雨による野洲川の増水 9月16日

野洲市議会

市災害対策本部等の
情報を議長に報告

議 長

議会事務局

議会事務局長



全員協議会での台風18号による被害報告

被害の状況等に応じ、
議会災害対応会議の招集

○自分の安否及び居所又は連絡場所報告
○収集した情報報告

出席＝情報提供等

議会災害対応会議

議 員

地域支援活動等

主な議事

- 議員の安否
- 議員からの市内の被害状況の報告
- 市災害対策本部等の報告及び審議内容
- 市災害対策本部等への協力
- 議員の災害対応に必要な活動

主な活動

- 被害状況の情報収集
- 被災者に対する相談及び助言
- 被災者の要望の把握
- 避難所の運営の支援

研修報告

文教福祉常任委員会 7月25日・26日

【兵庫県相生市】

●子育て支援について

相生市は、平成22年の国勢調査で15歳未満の年少人口が県下市町で一番少なく、約30年後の2040年には、年少人口の減少率がマイナス62%になる状況である。この課題を改善するために、「子育て応援都市宣言」をして、子育て世代を中心に定住促進を図っている。

具体的な施策として、出産時に5万円を贈る出産祝金支給事業、中学3年までの入院・通院医療費助成の拡大や、給食費無料化事業、結婚3年以内で夫婦どちらかが40歳未満の新婚所帯へ月額1万円の家賃補助を3年間行う事業、市外から転入し、市内に住宅を新築又は購入した世帯に奨励金を交付する事業などが挙げられる。給食費無料化など、子育て支援について本市でも今後の検討課題として考えられる。

【兵庫県明石市】

●不登校早期対応システム・いじめ対策について

明石市では、不登校予防のための早期対応システムとして、平成20年から「ストップ不登校あかし」を導入している。

具体的には、欠席理由の確認や実態を把握するために、欠席1日目に保護者に電話連絡、連続欠

席2日目には家庭訪問、連続欠席2～6日目で電話連絡や家庭訪問を行い、連続欠席3日目と連続欠席7日目には児童生徒支援課に連絡票をFAXする。児童生徒支援課からのFAX返信コメントを関係教職員で共通理解をし、実態把握を深め対応方法の再検討を行うというものである。また、事例検討では、臨床心理士や社会福祉士を派遣するなど、不登校に対するいち早い対応とともに、学校と市が情報を共有し手厚い対応をされているという印象を受けた。

また、いじめ対策としては、「いじめストップあかし」を推進し、児童生徒による啓発活動をはじめとする、さまざまな対策が学校・家庭・地域・関係機関等の連携の中で講じられている。本市においても、これらの問題に対するいち早い対応を具体化していく取り組みが必要であると感じた。



明石市役所

総務常任委員会 8月6日

【兵庫県三田市】

●駅前開発について

●まちづくりの活性化について

今回の視察研修先として駅前の再開発やまちづくりの活性化を進めておられる三田市を訪問し、まちづくりの拠点として駅前商業ビルの活用に至った経緯、再開発当時の課題や市民の反応、まちづくり協働センターの運営などについて担当職員から説明を受けた。

三田市は、30年前から人口増加に伴い、三田駅周辺整備を行政中心で進めてこられた。

駅周辺をA・B・C・Dの4つの区画に分け、AとDの区画が完成し、今後BとCの区画整備が始まり、市民協働の観点により民間の力で再開発が進み、行政は道路の部分を受け持つとのことである。

また、人口増加と平行して市民病院も20年前に

新築移転をされ、今ようやく単年度黒字になったそうである。

本市においても駅前整備について新病院の問題、市民の交流の場所づくりなど、三田市の状況も参考としながら、計画的に進めていく必要があると感じた。



三田市まちづくり協働センター

環境経済建設常任委員会 8月7日・8日

【石川県加賀市】

●加賀温泉駅前（統合新病院）の整備方針

加賀市は、平成17年10月1日に旧加賀市と旧山中町が合併し、人口は71,600人余りの市である。

病院の状況は、公的な医療機関として、加賀市民病院、山中温泉医療センター、石川病院があり、その他民間病院が5病院である。

公立2病院（加賀市民病院と山中温泉医療センター）の統合について、医療提供体制調査検討委員会において検討し、基本構想を策定した。また、市のサービスのあり方に関する市民アンケートを実施し、新病院を建設すべきとの回答は56.3%であった。



加賀市新病院建設予定地

◇統合新病院の概要

- ・建設地…医師の確保を最大の目的として、交通の利便性に考慮し、市のほぼ中央に位置する加賀温泉駅から300メートルの場所
- ・施設の規模等…一般病床250床・回復期病床

50床で、6階建て、延床面積27,600㎡、敷地面積51,140㎡、駐車場は900台

- ・事業費…建設工事費64億円、医療機器等整備23億円、用地取得・造成工事費15億円の総額102億円で、財源は公立病院再編債、合併特例債、病院事業債
- ・経営シミュレーション…一般病床稼働率90%で2年目には黒字

加賀市は加賀温泉駅前に病院を核とした都市整備を検討されている。その中で新病院整備の取り組みは、既存の2病院の統合をめざしている点や敷地面積等に違いがあるものの、立地場所等、本市の新病院整備の検討と似通った取り組みをされており、意義深い事例であった。

【石川県白山市】

●地産地消の取り組み

白山市は、平成17年2月1日に松任市と美川町はじめ1市2町5村が合併し、人口は113,000人余りの市である。

地産地消の推進体制として、平成21年4月に庁内に地産地消課を設置した。また、生産者や消費者等で構成する地産地消推進会議を設置している。

◇主な取り組み

- ・地産地消推奨店の募集・登録（96店舗）
 - ・市内の農産物、8品目を白山市農林水産物ブランドに認定
 - ・食育フォーラムの開催など市民意識の啓発
- 地産地消推奨店制度や推進体制などの先進的な取り組みは、参考とすべき点であった。

第6回野洲市議会報告会・懇談会のお知らせ

野洲市議会は11月より新体制でスタートします。今後もより一層の開かれた議会をめざし、引き続き、報告会・懇談会を開催します。

市民のみなさまに議会の活動状況をお知らせするとともに、市政に関するご意見等を聴きします。当日、直接会場へお越しください。

（事前申込は不要です。）

日 時	会 場	懇談会のテーマ
11月24日(日) 午後1時30分～	コミセンきたの 2 階研修室	・新議会に望むこと ・新病院の整備について
11月25日(月) 午後7時～	コミセンみかみ 大ホール	
11月27日(水) 午後7時～	コミセンひょうず 大ホール	

野洲市議会出前懇談会を実施しています！

野洲市議会では、議員が出向いて市民のご意見等を直接お聴きする『出前懇談会』を年間通して実施しています！お申し込みは野洲市議会事務局まで。

- 対 象 市内に在住又は在勤している人で構成する概ね5人以上の団体やグループ
- 懇談テーマ 市政の重要課題等
- 開 催 日 開催期日は問いませんが、開催希望日の20日前までにお申込みください。
- 開催時間 午前9時から午後9時までの間で、1回につき2時間以内
- 問合せ先 議会事務局（TEL 587-6034）まで

今後の議会予定

月 日	曜日	種 別	開議時刻	摘 要
11月8日	金	本会議	9:00	臨時会
28日	木	本会議	9:00	上程議案の提案説明
12月5日	木	本会議	9:00	議案質疑、一般質問
		委員会	本会議終了後	予算常任委員会
6日	金	本会議	9:00	一般質問
9日	月	本会議	9:00	一般質問（予備日）
10～12日	火～木	委員会	9:00	委員会審査
17日	火	委員会	9:00	予算常任委員会
19日	木	本会議	13:00	委員長報告、討論、採決

※上記日程は都合により変更される場合があります。

※11月8日（金）午前9時開会の臨時会において正副議長立候補者の所信表明演説及び正副議長の選出が行われる予定です。

傍聴のごあんない

傍聴を希望される方は、原則、自由に議場または委員会室（野洲市役所本館3階）の傍聴席にお入りいただくことができます。

写 真 募 集

「やす市議会だより」の表紙に掲載する写真を募集しています。どなたでも応募可能です。応募方法は野洲市議会事務局まで。

■TEL (077)587-6034 ■FAX (077)586-4300

■メール gikai@city.yasu.lg.jp

No.36 表紙写真



野洲第二保育園 祖父母参観

園児とその祖父母が、ふれあい遊びや昔からの歌遊び等を一緒に楽しみました。「ありがとう。」「またあそんでね。」世代間交流の機会が少なくっている昨今、おじいさん、おばあさんの温かさや優しさを感じて学ぶ、大切な機会です。

野洲第二保育園は、今年度末に閉園し、4月には、新生『さくらばさまこども園』に移転します。

No.36

発行日／平成25年10月31日

発 行／野洲市議会

編 集／議会広報特別委員会

〒520-2395

滋賀県野洲市小篠原2100番地1

TEL (077) 587-6034

FAX (077) 586-4300

野洲市議会ホームページ

野洲市議会 検索

ごあいさつ

平成21年11月1日に20名の議員が選出され、早や4年が経過し、このたび任期の満了を迎えることになりました。

今期は、議員提案による「野洲市議会基本条例」、「野洲市議会議員政治倫理条例」、「野洲市空き家の適正管理に関する条例」等を制定しました。

今後市民参加のまちづくりと更なる議会改革を進めてまいりますので、新議会にご期待ください。

4年間のご支援とご協力に感謝申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

野洲市議会議員一同

編集後記

芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、みなさまにとつて秋はどんな季節でしょうか。10月1日で野洲市が誕生して9周年を迎えました。

9月には台風18号による数十年に一度の記録的な大雨で、気象庁がはじめて大雨特別警報を発令しました。本市でも防災無線や広報車などで避難を呼びかけましたが、内容がわからなかった、聞き取りにくかった、避難勧告・指示の違いがわかりにくい、携帯電話のエリアメールで内容を知ったなどの意見をいただき、周知の方法など今後の課題と考えられます。

本委員会も11月から新たな体制となります。

これまで議会広報活動にご支援いただき、ありがとうございます。今後引き続き、議会だよりを、愛読いただきま



議会広報特別委員会委員一同